

# 地方行政

◎昭和23年7月9日 第3種郵便物認可◎毎週2回月・木曜日発行(但し祝日を除く)◎購読料金 月額税込み5,565円  
発行所 〒104-8178 東京都中央区銀座5丁目15番8号 時事通信社

## 道標

### バリアフリー観光への取り組み

すずき けんいち 三重県伊勢市長



伊勢は神宮ご鎮座のまちとして2000有余年にわたり、「お伊勢さん」として全国の人々から親しまれ、栄えてまいりました。今秋には、1300年続く、20年に1度の式年遷宮が執り行われ、1000万人を超える観光客を見込んでいます。観光客も、江戸時代には2カ月もかけた徒歩による参拝、高度経済成長期には会社や団体のツアー、現在では癒やしを求め多くの若い女性と、時代により変化しています。

これからは、少子高齢化という人口構造の変化に伴い、観光市場においても対応が求められています。車いすを利用する伊勢神宮参拝者は、平成13年には約4000人でしたが、平成23年には1万3000人を超え、約3倍となりました。今後、さらに増加するでしょう。私は、以前、車いすを利用している友人の協力で、伊勢から京都まで、車いすで旅行をしました。乗車券の購入から電車の乗り換え、昼食場所にトイレと、健常者では何も違和感のない環境が全く別の世界であることが分かりました。

伊勢市では、高齢者や障がいのある方が安心して楽しんでいただくために、「バリアフリー観光」への取り組みを進めています。一例ですが、宿泊施設バリアフリー改修事業では、NPO法人「伊勢志摩バリアフリーツアーセンター」と協働で、画一的な基準ではなく、それぞれの宿泊施設に合わせた7件の改修に対して50%の補助を実施しました。また、小学生から住みやすいまちづくりへの参画として募った「やさしいまち伊勢市発見大賞」、公共施設への授乳室やオストメイト対応トイレの設置、車いすの貸し出しなど、担当部署だけではなく、各部署からの提案でさまざまな事業が進んでいきます。

今後はこれらの取り組みをさらに磨くとともに、防災対策においてもバリアフリーの視点を取り入れ、高齢者や障がいのある方など援護の必要な方々のサポートに取り組んでいきたいと考えています。

2013年(平成25年)  
2月14日[木]  
第10374号

#### 目次

木曜連載	2
義務付け・枠付けの見直しと条例制定権の拡大③	
＝生活の利便性向上等のための独自基準	
＝地域の判断に委ね、住民ニーズに迅速対応	
トピックス	7
国土交通省	
古い自民の象徴にはしない「顔の見える防災」が大事	
行政EXPRESS	8
静岡県、福井県、鹿児島市	
霞が関がわい	8
文部科学省	
一家言	9
高梁慕情	
木曜連載	10
続・地域力と地域創造④	
＝外国人が学ぶイタリア料理研修機関	
＝食文化を根底にした輸出戦略	
国交省の13年度予算案(上)	14
公共事業費、14.1%増	
＝一括交付金除くと横ばい	
農政ウォッチング	19
ウナギの資源管理強化	
安定供給目指し生息調査	
六団体	20
歳出削減策が裏目に?	
茨城県の認知度向上に期待	